

平成 31 年度障害者虐待防止対策支援事業実施報告

1 目的

障がい者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の適切な支援のため、地域における福祉関係機関従事者等の支援体制の強化や協力体制の整備を図ることを目的とする。

2 対象事業

- (1) 虐待時の対応のための体制整備
- (2) 障がい者虐待防止・権利擁護に関する研修の実施
- (3) 専門性の強化
- (4) 連携協力体制の整備
- (5) 普及啓発 その他地域の実情に応じて実施する事業

3 事業内容及び手法

- 障がい者虐待防止・権利擁護に関する研修会の開催（上記 2）

【研修会の目的】

障害者虐待の問題や権利擁護について、地域における福祉関係機関従事者等の理解を深めることにより、虐待の早期発見と適切な支援に役立てることを目的とする。

実施日時	対象及び参加者数	内 容
R1. 12. 18（水） 14：00～16：00 市役所地下 1 階 会議室	・相談支援専門員 ・障害福祉サービス事業所、障害者支援施設職員、管理者等 ・福祉課職員（障害福祉係） <u>計 61 人</u>	① 講話及びグループワーク 「障害者虐待をなくすために」 ～これから私たちがやるべきこと、今どき（令和時代）の虐待防止を考える～ <講師> 社会福祉法人 共生福祉会 障がい者支援施設 いちごの里 施設長 新田 光寿 氏 ② 質疑応答 ③ アンケートの実施

4 事業成果（気づき・学び）

- ・虐待が起こる原因について学び、支援者の意識や対応方法、職場環境等から、実際従事者が行っている支援について振り返ることができた
- ・虐待防止・権利擁護の視点や早期発見、早期通報（相談）の重要性など、基本的な視点についての認識を深めることができた
- ・不適切な支援に気づき、問題視することやチーム力の必要性が理解でき、支援に対する意識を高めることができた
- ・事業所等管理者に対して、職員間の支援の質の向上や相談し合える環境づくり等、組織としての取組みの必要性について考えるよい機会となった。